

平成26年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成25年11月8日

上場会社名 築地魚市場 株式会社
 コード番号 8039 URL <http://www.tsukiji-uoichiba.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 猛
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 大竹 利夫

TEL 03-3541-6312

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	39,258	3.4	131		142		257	
25年3月期第2四半期	37,980	7.9	1,273		1,292		2,305	

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 251百万円 (%) 25年3月期第2四半期 2,145百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	11.48	
25年3月期第2四半期	102.73	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	13,346	3,874	29.0	172.63
25年3月期	14,607	3,622	24.8	161.41

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 3,874百万円 25年3月期 3,622百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期				0.00	0.00
26年3月期					

平成26年3月期の期末配当につきましては、現時点では未定とさせていただきます。配当予想額の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	78,000	1.7	300		290		390		17.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	22,475,208 株	25年3月期	22,475,208 株
26年3月期2Q	29,550 株	25年3月期	29,251 株
26年3月期2Q	22,445,701 株	25年3月期2Q	22,446,639 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における、わが国経済は、アベノミクス、及び日銀による異次元緩和によって、实体经济にも徐々に明るさが見え始めてはいますが、足下の企業業績はまだら模様で、円安による原料資材関係のコストアップ等による消費冷え込みも懸念され、景気の先行きは未だ不透明な状況です。

水産物流通業界におきましては、昨年、急激な相場下落を演じた冷凍水産物が今年度に入り比較的堅調に推移、また鮮魚関係も総じて価格が上昇しておりますが、消費者の低価格志向は続いており価格転嫁は進まず、本格的な需要回復とは言えない状況が継続しております。

このような状況のもと、当社グループの主要セグメントである水産物卸売業において、取扱数量が前年比3.3%、単価が前年比1.4%、それぞれ増加したことにより、連結売上高は392億58百万円（前年同期売上高379億80百万円）と若干の増収となり、冷凍魚関係の収益も回復し、さらにマグロの取扱利益増加並びに経費削減効果もあって、営業利益は1億31百万円（前年同期営業損失12億73百万円）、経常利益は1億42百万円（前年同期経常損失12億92百万円）、四半期純利益は2億57百万円（前年同期四半期純損失23億5百万円）となりました。なお、当社グループは『東市Action-Plan』の完遂に向けて引き続き取り組んで参ります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間の総資産は133億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億60百万円減少いたしました。流動資産は86億96百万円となり、13億13百万円減少いたしました。これは主に借入金の返済に伴う現金及び預金の減少によるものです。固定資産は46億50百万円となり、53百万円増加いたしました。これは主に長期貸付金の増加によるものです。

当第2四半期連結会計期間の負債は94億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億11百万円減少いたしました。流動負債は76億3百万円となり、16億33百万円減少いたしました。これは主に短期借入金の返済によるものです。固定負債は18億68百万円となり、1億21百万円増加いたしました。これは主に長期借入金によるものです。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は38億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ、2億51百万円増加いたしました。これは主に、四半期純利益による利益剰余金の増加によるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の24.80%から29.03%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年5月10日に公表いたしました平成26年3月期連結業績予想を修正いたしております。

平成26年3月期連結業績予想数値の修正（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	75,800	260	200	200	8 91
今回修正予想 (B)	78,000	300	290	390	17 38
増減額 (B - A)	2,200	40	90	190	—
増減率 (%)	2.9	15.4	45.0	95.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成25年3月期)	76,724	△2,236	△2,268	△3,895	△173 54

(修正の理由)

売上高は鮮魚・冷凍魚共に総じて相場が回復基調にあり取扱数量増加もあって増収を見込み、また、収益面でも、追加的な金融費用削減や特別利益もあり、営業利益、経常利益、当期純利益のいずれの段階損益も当初想定した数値を上回る見込みです。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在に於いて入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,751	1,462
受取手形及び売掛金	4,189	4,422
前渡金	347	224
有価証券	45	45
商品及び製品	2,290	2,279
原材料及び貯蔵品	9	11
その他	536	406
貸倒引当金	△159	△156
流動資産合計	10,009	8,696
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,908	1,867
その他(純額)	1,065	1,061
有形固定資産合計	2,973	2,929
無形固定資産		
投資その他の資産	81	95
投資有価証券	1,272	1,268
その他	333	424
貸倒引当金	△63	△67
投資その他の資産合計	1,542	1,625
固定資産合計	4,597	4,650
資産合計	14,607	13,346
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,330	3,219
短期借入金	6,299	3,863
未払法人税等	24	9
賞与引当金	71	65
その他	512	446
流動負債合計	9,237	7,603
固定負債		
長期借入金	463	690
長期未払金	23	4
繰延税金負債	96	92
退職給付引当金	562	477
その他	600	604
固定負債合計	1,746	1,868
負債合計	10,984	9,472

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,037	2,037
資本剰余金	1,309	983
利益剰余金	△39	543
自己株式	△5	△5
株主資本合計	3,301	3,558
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	303	297
土地再評価差額金	18	18
その他の包括利益累計額合計	321	315
純資産合計	3,622	3,874
負債純資産合計	14,607	13,346

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	37,980	39,258
売上原価	37,268	37,424
売上総利益	712	1,834
販売費及び一般管理費	1,985	1,703
営業利益又は営業損失(△)	△1,273	131
営業外収益		
受取利息	7	19
受取配当金	41	19
その他	24	11
営業外収益合計	73	50
営業外費用		
支払利息	58	34
有価証券運用損	24	—
その他	9	4
営業外費用合計	93	39
経常利益又は経常損失(△)	△1,292	142
特別利益		
投資有価証券売却益	108	—
補助金収入	36	—
損害賠償金	—	117
特別利益合計	144	117
特別損失		
投資有価証券評価損	560	—
投資有価証券売却損	410	—
固定資産圧縮損	34	—
減損損失	60	—
事業整理損	82	—
特別損失合計	1,149	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,297	259
法人税等	8	2
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△2,305	257
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,305	257

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△2,305	257
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	156	△5
繰延ヘッジ損益	3	—
その他の包括利益合計	160	△5
四半期包括利益	△2,145	251
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,145	251
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。